

第5回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップを開催しました

2023年3月14日（火）19:00から、メディア交流館にて「第5回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップ」を開催しました。これまでのWSでの意見をまとめた『市民の皆さんが考えるまちづくりの方向性・イメージ』を共有・確認していたとき、参加者の方々からご意見を頂きました。

頂いたご意見の一部は以下の通りです。



▲第5回WSの様子

●荒尾駅停車場線について

- ・道路拡幅などのハード整備から進めていくのか？
⇒（事務局の回答）ハード整備の前に、沿道の利活用方法やバリアフリーについて、来年度から検討していく。

●駅舎について

- ・駅舎内で移動販売の実証実験を行ったが、多くの方にご利用いただいた。駅舎の活用方法についても、考えていくことが必要だと考えている。

●駅前広場について

- ・ロータリー内を逆走する車両が確認されるため、分かりやすい運用としてほしい。
- ・誰でも利用できるトイレを設置してほしい。

●今後の進め方について

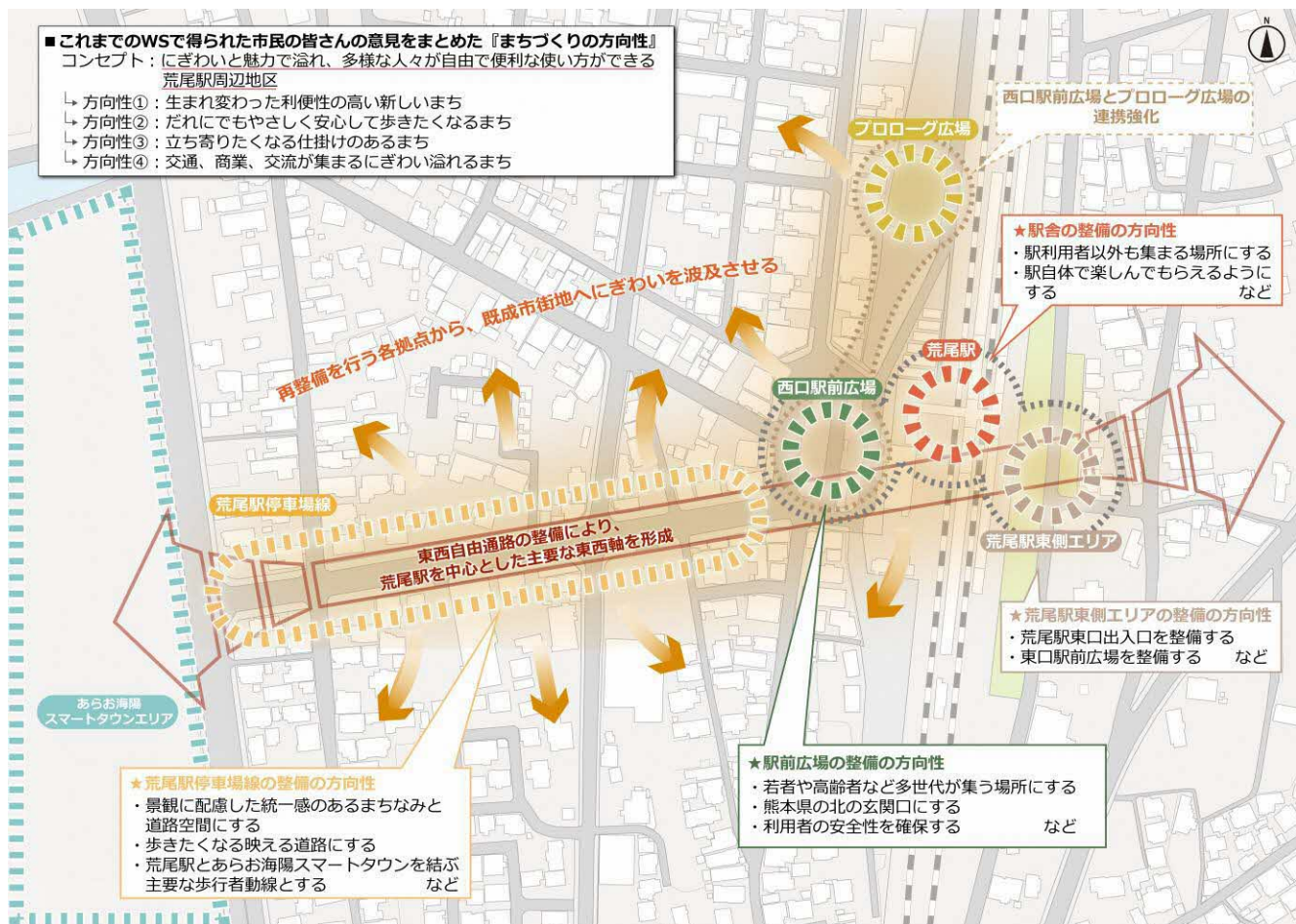
- ・今後の計画について、順序立てて事業化していき、各事業者や市民と合意形成していくことが重要である。

1. 市民の皆さんが考えるまちづくりの方向性・イメージ

第5回WSを含むこれまでのWSでの意見をまとめた『市民の皆さんが考えるまちづくりの方向性・イメージ』について、荒尾駅周辺地区全体の概要は以下になります。

来年度からは、以下のまちづくりの方向性・イメージを踏まえて、個別の整備内容（駅舎、駅前広場、荒尾駅停車場線など）を検討していきます。

（※駅舎、駅前広場、荒尾駅停車場線などの個別のまちづくりの方向性・イメージについては、参考資料を参照）



2. 来年度からの取り組みについて

来年度以降、個別の整備内容を検討していきますが、今年度同様に、地域の皆さまからのご意見を頂く機会を設けながら、進めていきたいと考えております。

その際は、より地域の声を反映させたまちづくりのため、ご参加をお願いいたします。

第5回荒尾駅周辺地区のまちづくりワークショップを開催しました

参考資料：個別のまちづくりの方向性・イメージの詳細

▶荒尾駅周辺

プロローグ広場

- 使いやすい一般車専用空間
 - ・一般車の利便性、円滑性の向上
 - ⇒例えば、乗車場と降車場を分けるスペースを広くする 等
- 使いやすい公共交通専用空間
 - ・バス停への案内を充実
 - ・待ち時間に利用できるベンチやテーブルの設置
- 分かりやすい運用
 - ・案内標識の充実など分かりやすい運用とする
- イベント空間
 - ・コンサートなどのイベントができる広場の整備
 - ・子どもが遊べる広場の整備
 - ⇒使われていないスペースの有効活用が必要
- 安全安心な歩行者空間
 - ・安全性を確保する

くつろぎ空間

- ・屋根付きの広場を整備し、くつろげる空間を創出
- ・カフェなどの商業施設を整備

うごける空間

- ・健康遊具の整備
- ・ヨガ教室などに利用できる広場の整備

イベント空間

- ・プロローグ広場を目的地として、来訪してもらうためのイベントの実施
- ⇒例えば、子どもたちが書いた絵を展示するイベントや、荒尾市内のお店を応援できるイベントの実施

東口の整備

- ・東西自由通路の整備に合わせて、東口を整備

東口駅前広場の整備

- ・一般車の送迎スペース・駐車場とタクシーの乗降場を備えた駅前広場を整備

駅前広場のイメージ

自由通路のイメージ

コンパクトな交通空間

西口駅前広場

広い歩行者空間

荒尾駅

送迎一般車 タクシー エリア

荒尾駅東側エリア

一般車駐車場 エリア

イベントスペースのイメージ

東側からのアクセス性向上

- ・東西自由通路の整備
- ⇒東側からの連絡が可能となることに合わせた東口駅前広場の整備

公共機能

- ・観光案内所
- ・学習スペース
- ・多様なニーズに対応できるイベントスペース

待合機能

- ・飲食店（カフェ、売店など）
- ・広い待合室

利便性の向上

- ・誰でも使用できるトイレの設置

新たな公共交通機能

- ・レンタサイクルの設置
- ・キックボードなどの新たな移動手段の活用

バリアフリーへの対応

- ・バリアフリーに配慮したエレベーター、エスカレーターの設置
- ・階段を緩やかにする

▶荒尾駅停車場線

ウォークابل空間とは？

ウォークابل=居心地が良く歩きたくなる人中心のまちなか

効果①：安全・快適に滞在できる空間の確保
 効果②：まちなかにおける人々の出会いや交流の促進
 効果③：沿道商店街の売上拡大、地価の下げ止まり
 効果④：まちへの愛着の醸成及び持続可能なまちづくりへの寄与など

にぎわい機能

- ・飲食ができる空間を整備
- ・キッチンカーが乗り入れられるように整備を行い、イベントを実施
- ・イベントが実施できる広場や子どもが遊べる空間の整備
- ⇒ウォークابل空間の創出による歩行者空間の拡大
- ・ウォークラリーや地元のお祭り、歩行者天国などの実施
- ・飲食店、スーパーなどの商業施設の誘致
- ・空き家の利活用

休憩機能

- ・ベンチやテーブルの設置（市民が手作りしたものも活用）

シンボルロード機能

- ・照明の設置
- ・植栽や舗装の統一
- ・段差を解消し、歩きやすくする

周辺との連携

- ・あらか海陽スマートタウンと連携した空間とする
- ・沿道施設と一体となったまちづくりの推進

Before

歩道 路肩 車道 路肩 歩道

After

歩道 路肩 車道 路肩 歩道

荒尾駅停車場線

ウォークابل空間を整備

荒尾駅停車場線全体で、歩道を拡幅

沿道施設との連携

荒尾駅停車場線全体で、バリアフリーな歩道を整備

荒尾駅方面

あらか海陽スマートタウン方面